ら下からずと言ふ謂ならん[illegible]我等選良[illegible]

すして何ぞや。資本主義的産業制度にして[illegible]合理主義的思想の表現[illegible]工を採用する我等の当然の運命[illegible]なくして機械、器具、建物[illegible]を破壊する違法行為を行はんとする意思なき[illegible]て、[illegible]因島職工を煽動し並に野氏を非難[illegible]なり。

同日午後八時頃より我等争議団は無謀にも悪説を宣伝[illegible]各戸に配布し以て頑冥なる小学児童[illegible]争議の渦中に[illegible]町民の同情を得んとするに至れり。

児童休校声明書（略）

吾等因島労働者は一日平均壹円五拾銭の生産[illegible]拾銭の賃銀で働いて暮らん。無論物価の高い今日鐚一文の貯のあらう筈はない。剰へ此不景気のどん底に際



して会社を馘首さるゝことは忽ち吾等の糧道を断ち一家を挙げて此住み馴れた因島を後に生か死かの暗憺たる流浪の旅に漂放さす者である。吾等は此悲惨極まる奈落の境遇より幾分なりとも救はんと最少限度の生活保障を会社に要求したのである。然るに惨虐なる会社は真に人間として生きんとする吾等の要求に何等一顧をも与へずして蹂躪し去った。吾等は已むなく合法的手段たる同盟罷工を以て会社の反省を促さんとするものである。争議発生以来既に二十四日の永きに亘り、其間吾等は実に男として忍ぶべからざるを忍び、あらゆる譲歩案を示せるも不拘、会社は能く進、益々傲慢と暴状とを改めず、啻に吾等の生活のみならず、金野氏の平和幸福を攪乱するが如き態度に出づるに至った。故に吾等は因島住民諸君の安寧秩序平和維持の為めに、如何なる迫害、苦難にも屈せず、仮例一家餓死しようとも此正義の戦ひを続け彼が迷夢を覚醒せしめずんば止まざるの覚悟を持つ者である。

されば今日以後此争議が幾十日、幾月かを持続するや計り難き現下の形勢なる時、吾等は只管吾等の身の上ならず、吾等の愛する子女の上に思ひを廻らせば[illegible]